

2022年度(2023年3月期) 決算説明資料(IFRS)

IHI

2023年5月9日

株式会社 IHI



目次

1. 2022年度 連結決算	
連結決算総括.....	4
連結決算の概要(受注高, 連結損益計算書).....	5
報告セグメント別内訳.....	6
金融損益等.....	11
連結財政状態計算書.....	12
連結キャッシュ・フロー計算書.....	13
補足資料.....	14
2. 2023年度 連結業績見通し	
前提および総括.....	17
通期業績見通し.....	18
報告セグメント別内訳.....	20
連結キャッシュ・フロー 通期見通し.....	23
3. 報告セグメント別の概況	
資源・エネルギー・環境.....	25
社会基盤・海洋.....	27
産業システム・汎用機械.....	29
航空・宇宙・防衛.....	31
<参考資料>.....	33

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示している。

1. 2022年度 連結決算

- 全セグメントにおいて増収増益，黒字化。
- 民間向け航空エンジンでは，スペアパーツ販売の回復基調は継続，加えて為替円安と採算改善が利益を押し上げ。
- 車両過給機では，販売減から回復したものの，原材料価格等の高騰の価格転嫁に課題。
- そのほかの事業は，全体として堅調に推移。
- キャッシュを稼ぐ力の基盤は確立できたものの，運転資本削減に課題。

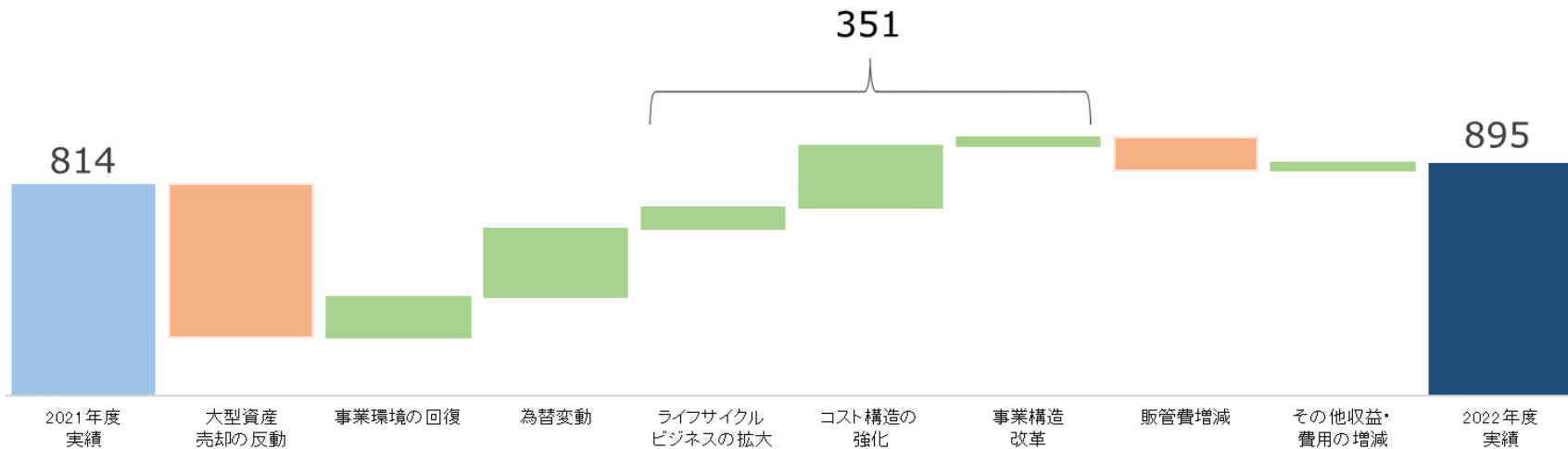
1. 2022年度 連結決算 連結決算の概要(受注高, 連結損益計算書)

(億円)

	'21年度	'22年度		増減
受注高	12,612	13,600	13,661	61 1,049
売上収益	11,729	13,500	13,529	29 1,800
営業利益	814	850	895	45 80
税引前当期利益	876	800	724	▲75 ▲152
親会社の所有者に 帰属する当期利益	660	500	520	20 ▲139

数表左上数値：2023年2月7日公表の業績予想数値。以下のスライドも同じ。

売上平均レート(米ドル) '21年度 112.68円, '22年度 134.32円



業績回復ドライバー

1. 2022年度 連結決算 報告セグメント別内訳(受注高・受注残高)

(億円)

	受注高			受注残高		
	'21年度	'22年度	増減	'21年度末	'22年度末	増減
資源・エネルギー・環境	3,738	4,200 3,934	▲265 195	5,275	5,657	381
社会基盤・海洋	1,810	1,400 1,340	▲59 ▲469	2,500	2,184	▲316
産業システム・汎用機械	3,845	4,400 4,559	159 714	1,807	2,010	202
航空・宇宙・防衛	3,047	3,600 3,727	127 679	2,838	2,934	96
報告セグメント計	12,441	13,600 13,562	▲37 1,120	12,421	12,786	364
その他	547	539	▲8	228	208	▲19
調整額	▲376	▲440	▲63	-	-	-
合計	12,612	13,600 13,661	61 1,049	12,650	12,994	344
海外受注高・受注残高	5,118	6,839	1,721	3,423	3,907	484
海外受注高・受注残高比率	41%	50%	9%	27%	30%	3%

受注残高の変動には、為替レート変更の影響も含まれている。

1. 2022年度 連結決算 報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益)

(億円)

	売上収益			営業利益		
	'21年度	'22年度	増減	'21年度	'22年度	増減
資源・エネルギー・環境	3,444	3,713	269	229	262	32
社会基盤・海洋	1,673	1,710	36	153	170	17
産業システム・汎用機械	3,769	4,365	595	128	180	51
航空・宇宙・防衛	2,652	3,641	988	▲93	437	530
報告セグメント計	11,540	13,431	1,890	418	1,050	632
その他	627	542	▲84	▲10	13	23
調整額	▲439	▲444	▲5	406	▲168	▲575
合計	11,729	13,529	1,800	814	895	80

海外売上収益	4,955	6,602	1,646
海外売上収益比率	42%	49%	7%

1. 2022年度 連結決算

報告セグメント別内訳(営業利益の前年度比増減要因)



(億円)

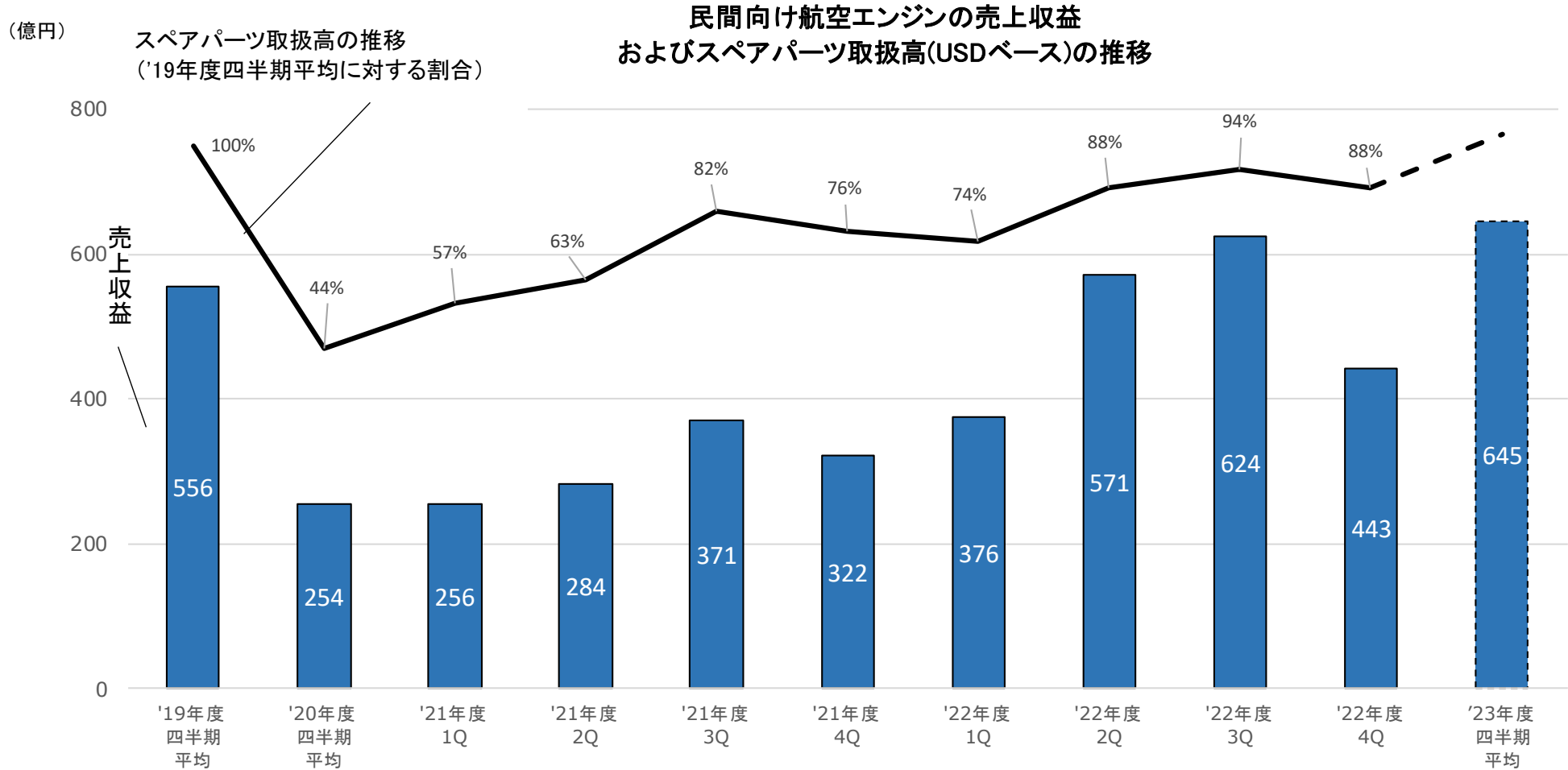
	売上収益の増減	工事採算の変動	為替の変動	販管費の変動	その他損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境	23	32	25	▲36	▲12	32
社会基盤・海洋	▲12	20	3	▲8	15	17
産業システム・汎用機械	29	▲21	19	▲20	44	51
航空・宇宙・防衛	184	196	220	▲16	▲54	530
報告セグメント計	225	227	267	▲80	▲7	632
その他	▲18	2	▲5	▲2	47	23
調整額	▲4			▲42	(※1)▲530	▲575
合計	203	229	262	▲124	▲490	80

報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

販管費の変動とその他損益の増減では為替の変動などを除いている。

(※1)前年同期に計上した資産売却の影響▲529億円を含む。

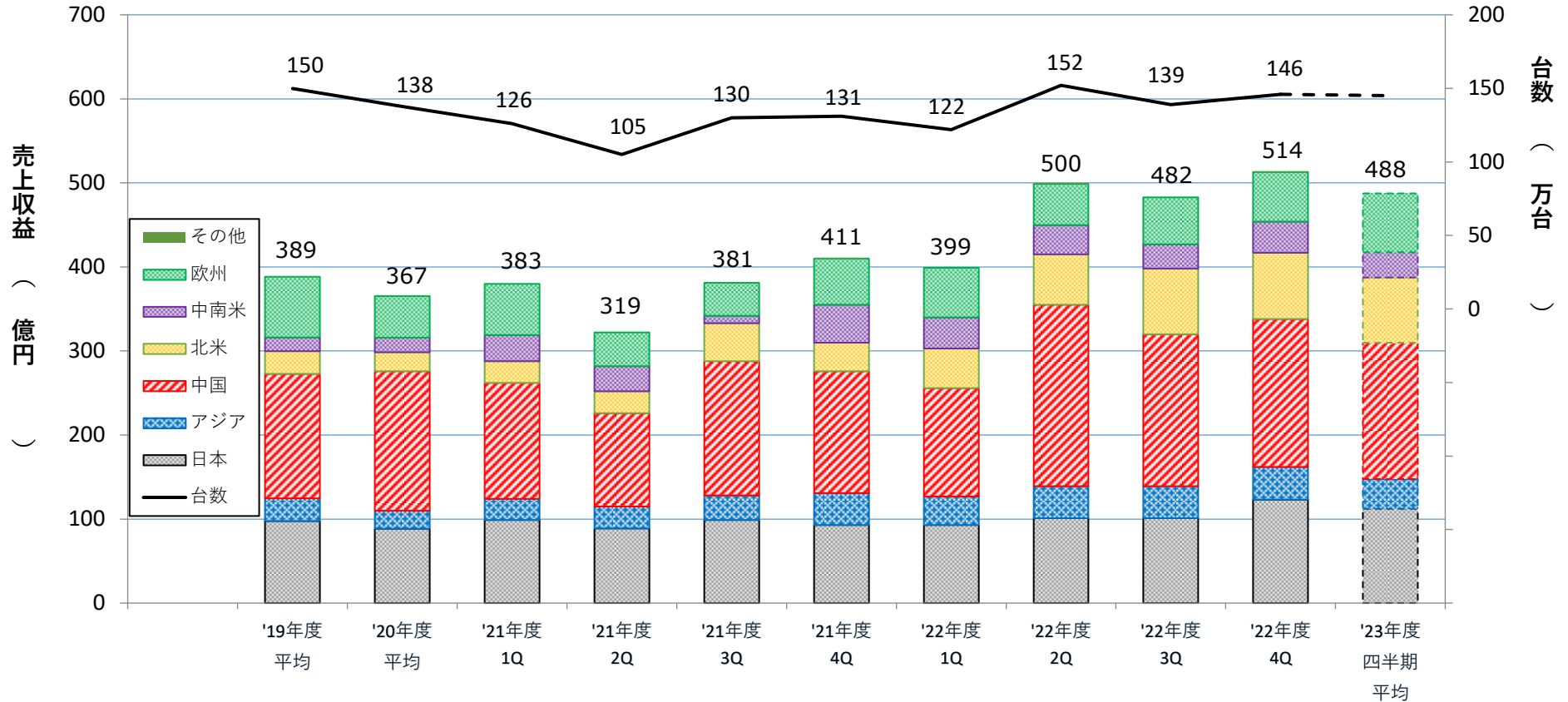
1. 2022年度 連結決算 報告セグメント別内訳(民間向け航空エンジンの状況)



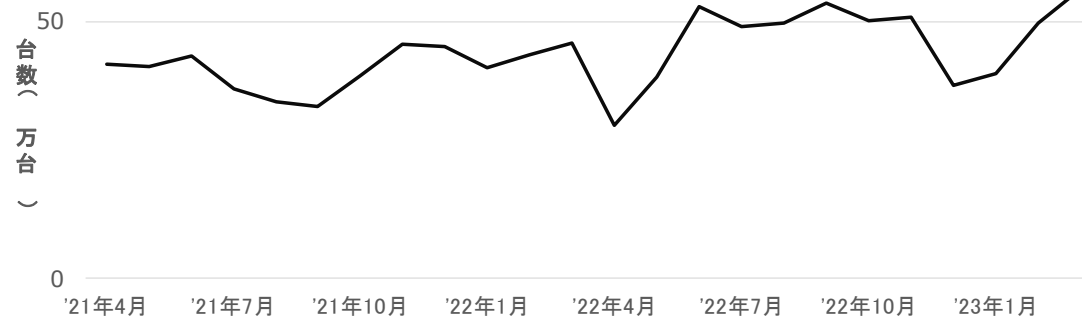
スペアパーツの取扱高は、おおむね順調に回復。

1. 2022年度 連結決算 報告セグメント別内訳(車両過給機の状況)

車両過給機 販売台数・地域別売上収益推移



車両過給機 販売台数月別推移



半導体不足や新型コロナウイルス感染拡大による販売減から戻りつつあるものの、今後も緩やかな回復にとどまる見込み。

1. 2022年度 連結決算 金融損益等

(億円)

	'21年度	'22年度	増 減
為替差損益	75	▲57	▲132
持分法による投資損益	11	▲83	▲95
その他の金融損益	▲25	▲29	▲4
金融損益等	61	▲171	▲232

期末日レートの変動(米ドル) '21年度 +11.74円 (期首110.65円→期末122.39円)
 '22年度 +11.02円 (期首122.39円→期末133.41円)

1. 2022年度 連結決算 連結財政状態計算書

(億円)

	'21年度末	'22年度末	増減
資産合計	18,796	19,495	698
(うち 現金及び現金同等物)	(1,454)	(1,247)	(▲ 207)
(うち 営業債権, 契約資産)	(4,745)	(5,307)	(561)
(うち 棚卸資産)	(3,401)	(3,745)	(343)
負債合計	14,726	14,857	130
(うち 営業債務等)	(2,354)	(2,470)	(116)
(うち 契約負債)	(2,147)	(2,018)	(▲ 128)
(うち 有利子負債残高)	(5,055)	(5,194)	(139)
社債及び借入金	(3,722)	(3,936)	(214)
リース負債	(1,333)	(1,258)	(▲ 75)
資本合計	4,070	4,637	567
親会社の所有者に帰属する持分	3,821	4,387	566
非支配持分	249	250	1
負債・資本合計	18,796	19,495	698
D/Eレシオ (※1)	1.24倍	1.12倍	▲ 0.12倍
親会社所有者帰属持分比率 (※2)	20.3%	22.5%	2.2%
ROIC (※3)	6.4%	6.9%	0.5%
CCC (※4)	112日	120日	8日
ROE (※5)	19.3%	12.7%	▲ 6.6%

(※1) D/Eレシオ=有利子負債／資本合計

(※2) 親会社所有者帰属持分比率=親会社の所有者に帰属する持分／負債・資本合計

(※3) ROIC=(営業利益+受取利息・配当金)税引後／(親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

(※4) CCC=運転資本／売上収益×365日

(※5) ROE=親会社の所有者に帰属する当期利益／親会社の所有者に帰属する持分

1. 2022年度 連結決算 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	'21年度	'22年度	増 減
税引前当期利益	876	724	▲152
減価償却費(※1)	675	629	▲45
その他	(※3) ▲640	▲39	600
小計	911	1,313	402
運転資本増減(※2)	230	▲772	▲1,002
営業キャッシュ・フロー	1,141	800 541	▲258 ▲600
投資キャッシュ・フロー	279	▲800 ▲523	276 ▲802
フリーキャッシュ・フロー	1,420	0 17	17 ▲1,403
財務キャッシュ・フロー	▲1,214	▲240	974

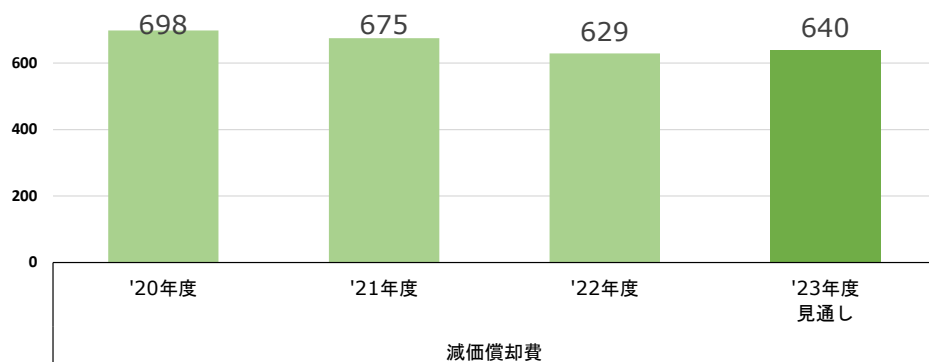
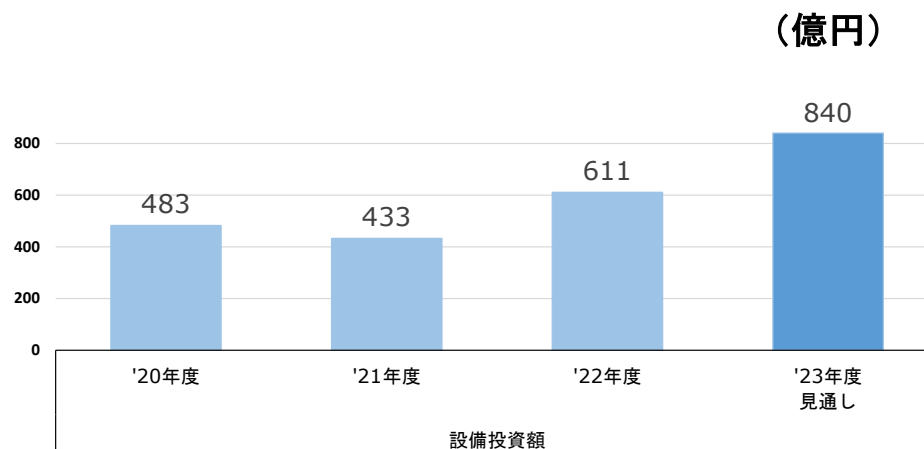
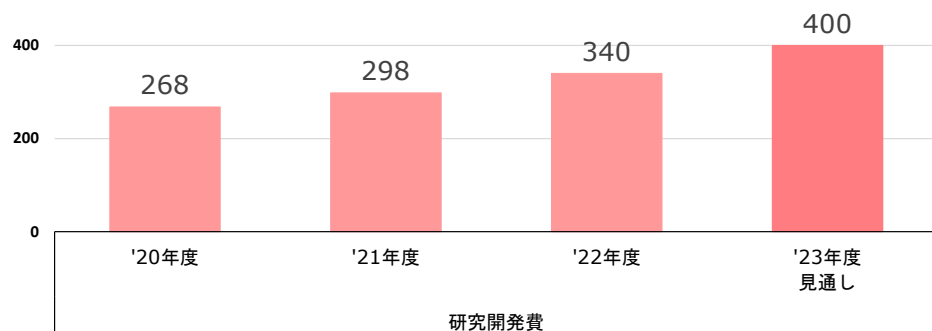
(※1)減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

(※2)運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。

運転資本＝営業債権＋契約資産＋棚卸資産＋前払金－契約負債－営業債務－返金負債

(※3)保有資産売却益の投資キャッシュ・フローへの振替額を含む。

(1) 研究開発費・設備投資額・減価償却費



設備投資額, 減価償却費は, 有形固定資産, 投資不動産, 使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示している。

(2) 地域別売上収益

(億円)

	'21年度	'22年度
日本	6,773	6,926
アジア	1,641	2,030
中国	879	1,097
北米	1,539	2,444
中南米	134	164
欧州	670	765
その他	89	101
合計	11,729	13,529

(3) 報告セグメント別 資産残高

(億円)

	資産残高		
	'21年度末	'22年度末	増減
資源・エネルギー・環境	3,001	3,523	522
社会基盤・海洋	2,909	2,988	78
産業システム・汎用機械	3,297	3,401	103
航空・宇宙・防衛	7,163	7,515	352
報告セグメント計	16,371	17,429	1,057
その他	1,841	1,939	98
調整額	584	125	▲458
合計	18,796	19,495	698

2. 2023年度 連結業績見通し

- 2023年度は「グループ経営方針2023」の重要なスタートの1年。
- 同経営方針で掲げる変革を実現するため、営業キャッシュ・フロー1,000億円を確保して、成長事業、育成事業へ経営資源を大胆にシフトし、投資を実行していく。
- 業績見通しでは、将来の成長に資する人への投資、研究開発投資、構造改革費用を積極的に織込みながらも、営業利益は2022年度の水準以上を確保する。

2. 2023年度 連結業績見通し 通期業績見通し

前提為替レート 米ドル 130円

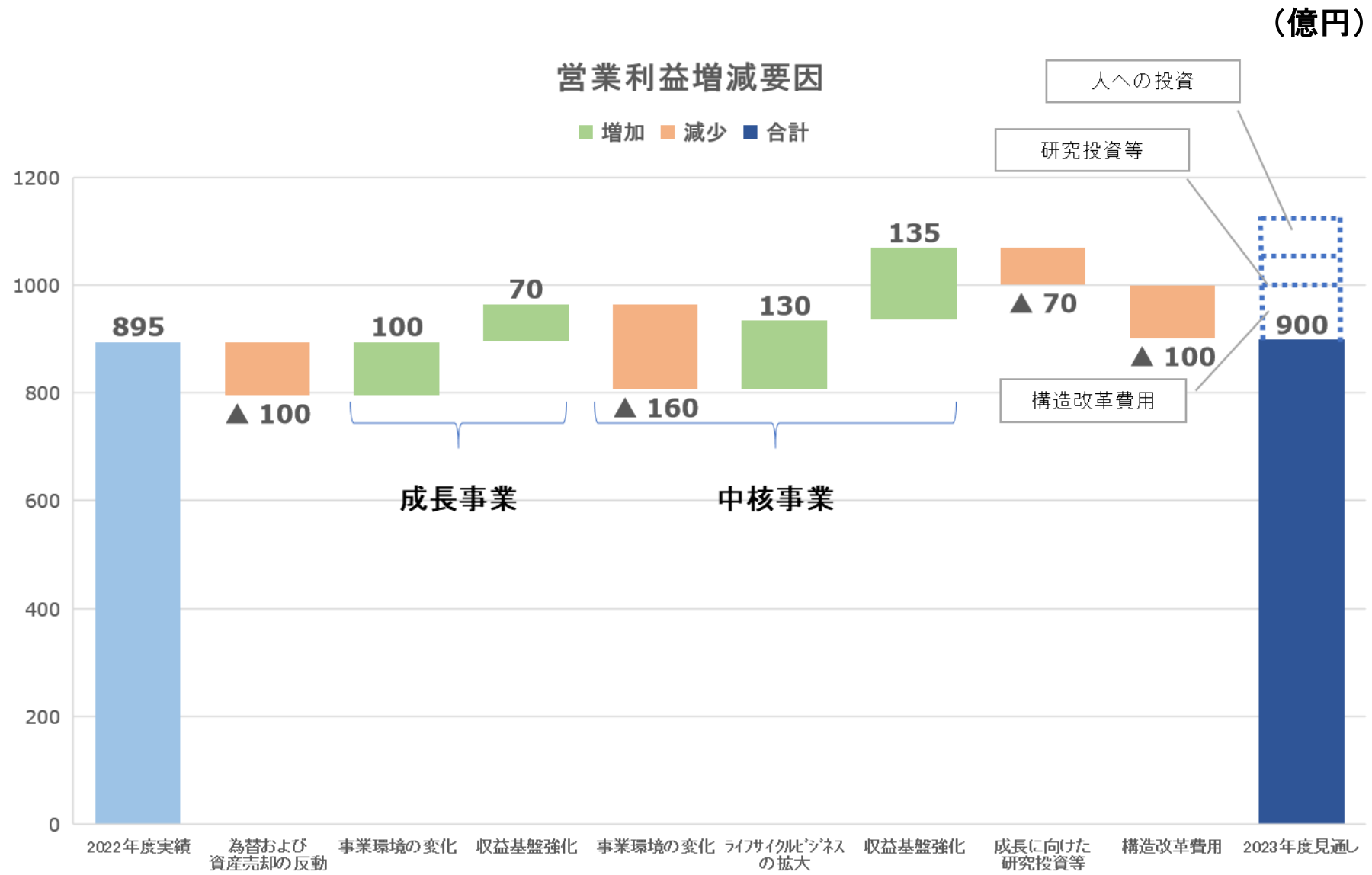
(億円)

	'22年度 実績	'23年度 見通し	増 減
受 注 高	13,661	15,000	1,338
売 上 収 益	13,529	14,500	970
営 業 利 益	895	900	4
税引前当期利益	724	850	125
親会社の所有者に 帰属する当期利益	520	500	▲20

(参考) 為替感応度(為替相場の1円変動による, 営業利益への影響額): 米ドル 14億円

配当見通し 1株あたり100円(中間 50円, 期末 50円) 配当性向(連結)30.4%

2. 2023年度 連結業績見通し 通期業績見通し(営業利益の前年度比増減要因)



2. 2023年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(受注高 通期見通し)

- 航空・宇宙・防衛は，防衛省向けに加え，民間向け航空エンジンの本体・スペアパーツで増加。
- 社会基盤は，橋梁・水門で増加。

(億円)

	'22年度 実績	'23年度 見通し	増減
資源・エネルギー・環境	3,934	3,800	▲134
社会基盤	1,340	1,800	459
産業システム・汎用機械	4,559	4,700	140
航空・宇宙・防衛	3,727	4,700	972
報告セグメント計	13,562	15,000	1,437
その他	539	500	▲39
調整額	▲440	▲500	▲59
合計	13,661	15,000	1,338

2. 2023年度 連結業績見通し

報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益 通期見通し)

- 航空・宇宙・防衛は、民間向け航空エンジンの本体・スペアパーツで増収。

(億円)

	売上収益			営業利益		
	'22年度 実績	'23年度 見通し	増減	'22年度 実績	'23年度 見通し	増減
資源・エネルギー・環境	3,713	3,800	86	262	260	▲2
社会基盤	1,710	1,900	189	170	130	▲40
産業システム・汎用機械	4,365	4,600	234	180	240	59
航空・宇宙・防衛	3,641	4,300	658	437	510	72
報告セグメント計	13,431	14,600	1,168	1,050	1,140	89
その他	542	500	▲42	13	30	16
調整額	▲444	▲600	▲155	▲168	▲270	▲101
合計	13,529	14,500	970	895	900	4

2. 2023年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(営業利益の前年度比増減要因)

- 航空・宇宙・防衛は、民間向け航空エンジンで本体の販売増で減益ながら、スペアパーツの販売増や採算改善で増益。
- 社会基盤は、都市開発で'22年度に計上した投資不動産売却益の影響で減益。

(億円)

	売上収益の増減	工事採算の変動	為替の変動	販管費の変動	その他損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境	▲ 20	28		▲ 10		▲ 2
社会基盤	10				▲ 50	▲ 40
産業システム・汎用機械	40	19				59
航空・宇宙・防衛	100	72	▲ 50	▲ 50		72
報告セグメント計	130	119	▲ 50	▲ 60	▲ 50	89
その他		16				16
調整額		9		▲ 10	▲ 100	▲ 101
合計	130	144	▲ 50	▲ 70	▲ 150	4

2. 2023年度 連結業績見通し 連結キャッシュ・フロー 通期見通し

(億円)

	'22年度 実績	'23年度 見通し	増 減
税引当期利益	724	850	125
減価償却費(※1)	629	680	50
その他	▲39	▲330	▲290
小計	1,313	1,200	▲113
運転資本増減(※2)	▲772	▲200	572
営業キャッシュ・フロー	541	1,000	458
投資キャッシュ・フロー	▲523	▲1,000	▲476
フリー・キャッシュ・フロー	17	0	▲17

(※1)減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

(※2)運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。

運転資本＝営業債権＋契約資産＋棚卸資産＋前払金－契約負債－営業債務－返金負債

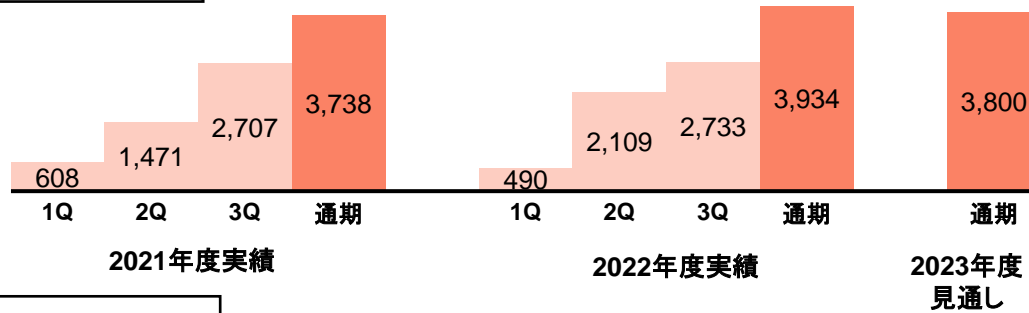
3. 報告セグメント別の概況

3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

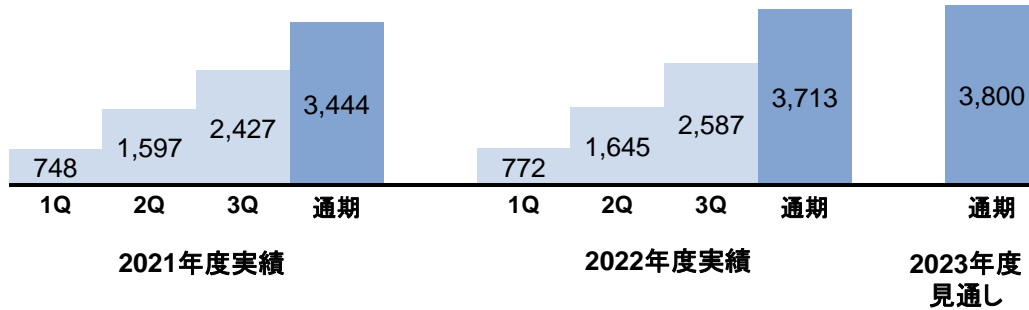
(億円/各期の金額は累計)

主要事業: 原動機, カーボンソリューション, 原子力

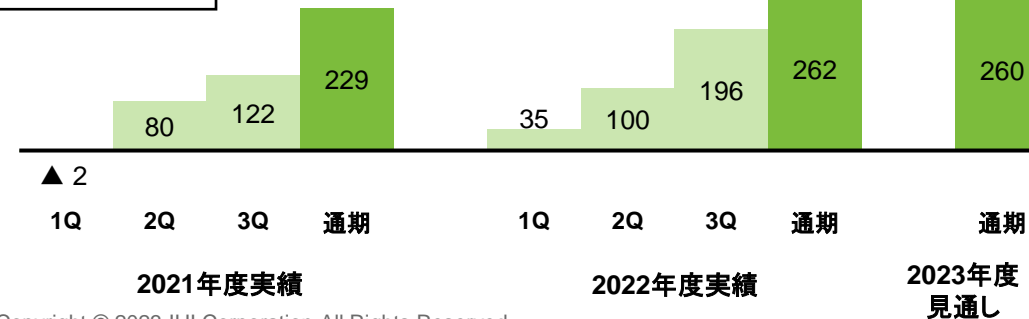
受注高



売上収益



営業利益



'22年度実績(対'21年度実績)

【受注高】

東南アジアでの大型発電所プロジェクトの受注で増加。

【売上収益】

原子力で増収。

【営業利益】

原子力での工事進捗やカーボンソリューションでの採算改善により増益。

'23年度見通し(対'22年度実績)

- 受注高は、カーボンソリューションで増加するものの、原子力での減少により微減。
- 売上収益・営業利益は、原子力での減収減益はあるものの、カーボンソリューションでのライフサイクルビジネス拡大や原動機での採算改善による増収増益で'22年度並み。

3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円)

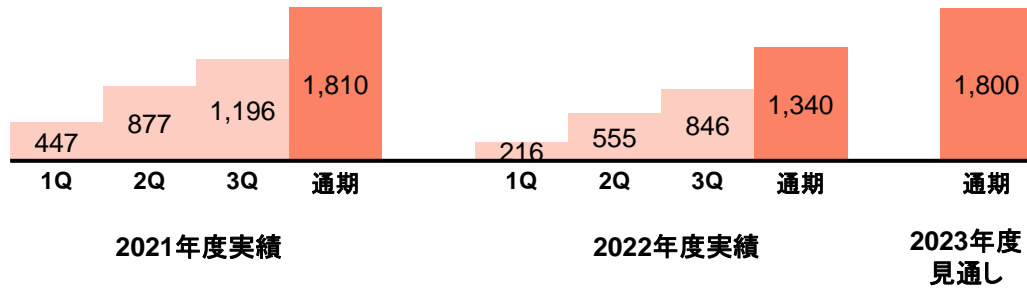
	受注高										売上収益									
	'21年度				'22年度				'23年度 通期 (見通し)	'21年度				'22年度				'23年度 通期 (見通し)		
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期		1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期			
原 動 機	255	414	604	846	222	491	759	976	740	186	384	610	889	157	326	532	818	800		
カ ー ボ ン ソ リ ュ ー シ ョ ン	154	622	1,156	1,591	33	239	396	677	1,820	352	764	1,129	1,558	323	737	1,111	1,562	1,630		
原 子 力	104	269	584	707	113	255	333	487	340	60	163	280	453	159	287	453	710	550		

3. 報告セグメント別の概況

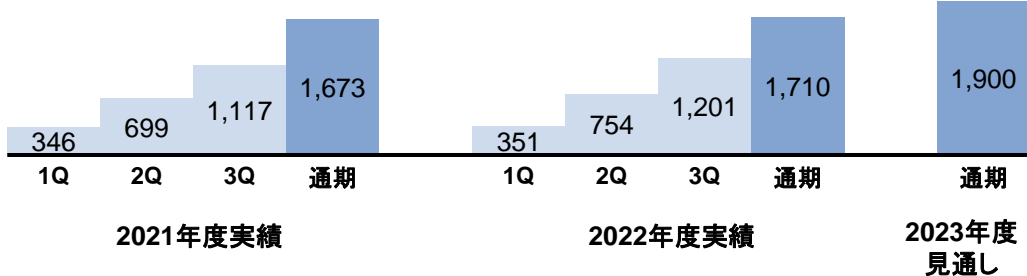
社会基盤・海洋

(億円/各期の金額は累計)

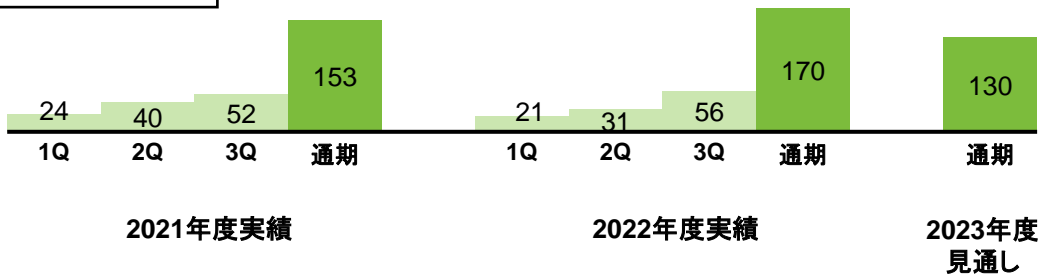
受注高



売上収益



営業利益



主要事業: 橋梁・水門, シールドシステム, 都市開発,
交通システム, コンクリート建材

'22年度実績(対'21年度実績)

【受注高】

橋梁・水門で減少。

【売上収益】

橋梁・水門で増収。

【営業利益】

橋梁・水門での増収や海外案件の採算改善により増益。

'23年度見通し(対'22年度実績)

- 受注高は、橋梁・水門で増加。
- 売上収益は、橋梁・水門で増収。
- 営業利益は、橋梁・水門での増収による増益はあるものの、都市開発で'22年度に計上した投資不動産売却益の影響で減益。

3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円)

	受注高									売上収益								
	'21年度				'22年度				'23年度 通期 (見通し)	'21年度				'22年度				'23年度 通期 (見通し)
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期		1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	
橋梁・水門	312	614	806	1,109	93	274	401	692	1,040	178	336	555	896	202	438	701	1,031	1,130
シールドシステム	12	44	86	146	14	43	98	181	270	58	120	175	227	51	93	144	180	240
都市開発	46	94	141	184	43	85	132	175	170	46	96	140	186	41	85	131	175	170

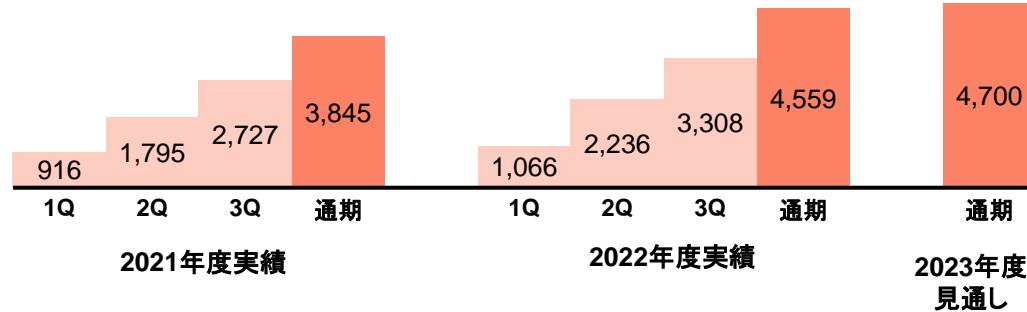
「都市開発」の豊洲地区関連情報は、＜参考資料＞都市開発を参照。

3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

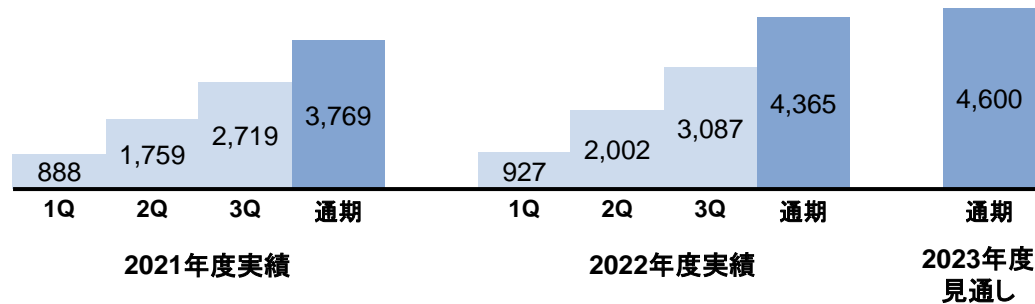
(億円/各期の金額は累計)

主要事業: 車両過給機, パーキング, 回転機械,
熱・表面処理, 運搬機械, 物流・産業システム

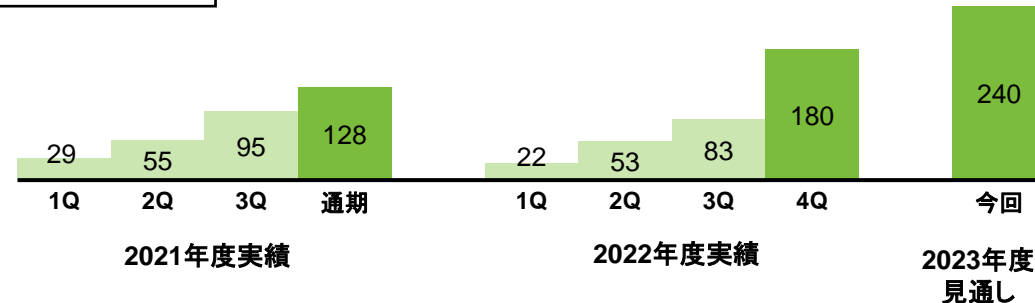
受注高



売上収益



営業利益



'22年度実績(対'21年度実績)

【受注高】

車両過給機や運搬機械で増加。

【売上収益】

車両過給機や熱・表面処理, 回転機械で増収。

【営業利益】

パーキングや物流・産業システムで減益となったものの、車両過給機や回転機械で増益。ただし、原材料価格等の高騰の価格転嫁に課題。

'23年度見通し(対'22年度実績)

- 受注高は、物流・産業システムや熱・表面処理で増加。
- 売上収益・営業利益は、物流・産業システムやパーキングでのライフサイクルビジネス拡大や採算改善により、増収増益。

3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円)

	受注高									売上収益									
	'21年度				'22年度				'23年度 通期 (見通し)	'21年度				'22年度				'23年度 通期 (見通し)	
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期		1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期		
車両過給機	386	714	1,100	1,518	397	897	1,381	1,892	1,940	383	702	1,083	1,494	399	899	1,381	1,895	1,950	
パーキング	106	229	333	524	116	277	402	600	580	91	196	319	472	94	200	323	463	570	
回転機械	136	267	391	559	184	345	465	632	630	119	237	376	527	117	263	406	589	630	
熱・表面処理	107	209	326	435	135	253	383	484	540	87	186	285	396	101	216	341	477	500	
運搬機械	41	97	135	230	85	169	219	314	330	73	164	242	310	89	159	242	339	330	
物流・産業システム	49	131	234	319	77	159	264	360	450	67	149	235	323	66	141	213	336	410	

「車両過給機」の詳細は、＜参考資料＞車両過給機を参照。

＜車両過給機の販売台数＞

(万台)

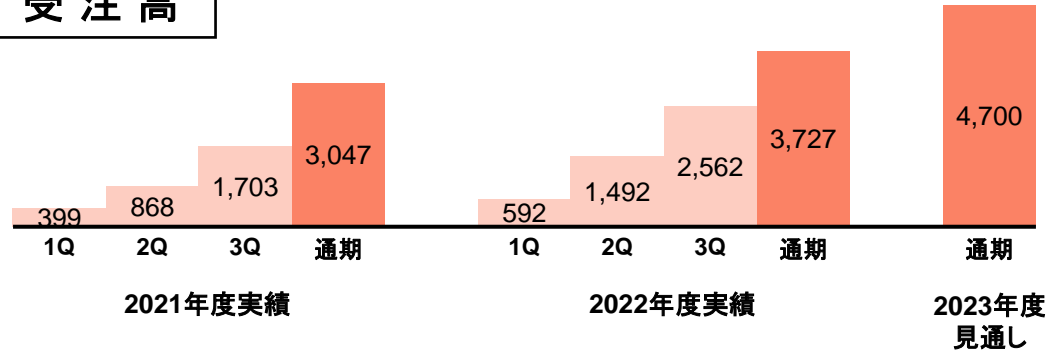
販売年度	通期
2021年度	492
2022年度	559
2023年度	580

3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

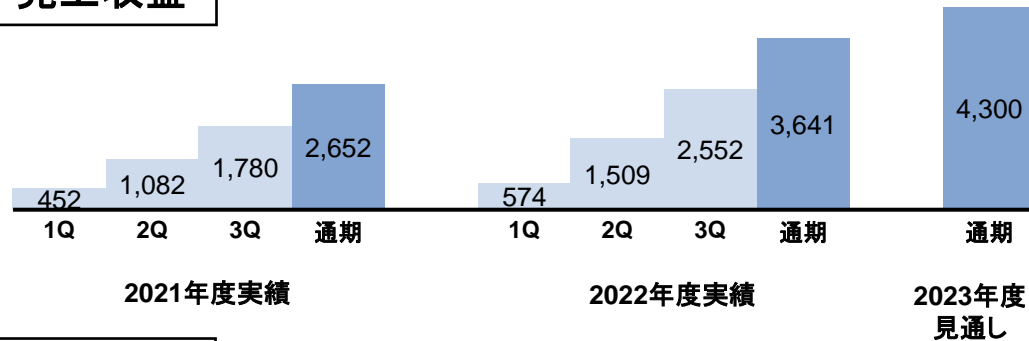
(億円/各期の金額は累計)

主要事業: 航空エンジン, ロケットシステム・宇宙利用
防衛機器システム

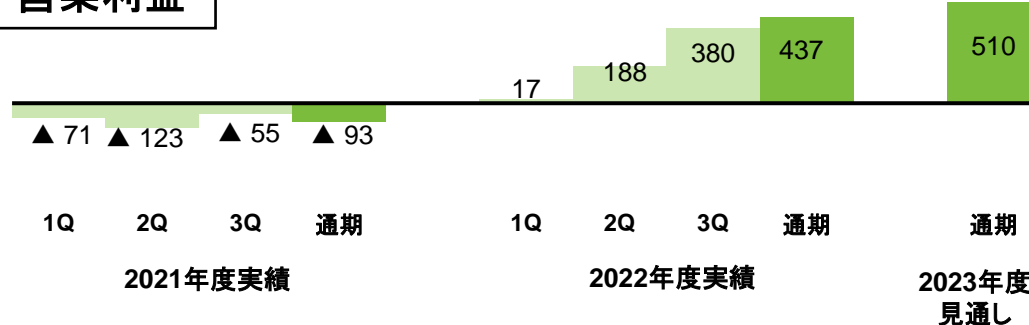
受注高



売上収益



営業利益



'22年度実績(対'21年度実績)

【受注高】

民間向け航空エンジンなどで増加。

【売上収益】

民間向け航空エンジンでの、エンジン本体・スペアパーツの販売増加に加え、為替が円安に推移したことにより増収。

【営業利益】

民間向け航空エンジンでの、スペアパーツの販売増加、新製エンジンの原価低減や性能改善に伴うプログラム関連費用の負担減少に加え、為替が円安に推移したことにより増益。

'23年度見通し(対'22年度実績)

- 受注高は、防衛省向けに加え、民間向け航空エンジンで増加。
- 売上収益は、民間向け航空エンジンで増収。
- 営業利益は、新製エンジン本体の販売台数増加や研究開発費の増加による減益はあるものの、スペアパーツの販売増加や原価低減により増益。

3. 報告セグメント別の概況

航空・宇宙・防衛

(億円)

	受注高									売上収益								
	'21年度				'22年度				'23年度 通期 (見通し)	'21年度				'22年度				'23年度 通期 (見通し)
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期		1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	
民間向け 航空エンジン	257	535	899	1,219	371	949	1,576	2,030	2,560	256	540	911	1,233	376	947	1,571	2,014	2,580

「民間向け航空エンジン」の詳細は、＜参考資料＞航空エンジンを参照

＜民間向け航空エンジンの販売台数＞

(台)

販売年度	通期
2021年度	789
2022年度	918
2023年度	1,204

<参考資料>

- ・主要な経営指標の推移
- ・航空エンジン
- ・車両過給機
- ・都市開発

主要な経営指標の推移

	日本基準		
	2016年度	2017年度	2018年度
受注高	13,898億円	15,050億円	13,992億円
売上収益	14,683億円	15,903億円	14,834億円
営業利益	473億円	722億円	824億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	52億円	82億円	398億円
営業CF	653億円	990億円	464億円
投資CF	▲ 289億円	▲ 479億円	▲ 792億円
FCF	364億円	510億円	▲ 328億円
配当	0円/株	中間3円/株 期末30円/株 (期末は、株 式併合後)	70円/株 (中間30円、 期末40円)
ROIC	5.0%	7.7%	8.7%
営業利益率	3.2%	4.5%	5.6%
CCC	87日	83日	97日
D/Eレシオ	1.10倍	0.92倍	0.93倍
ROE	1.6%	2.6%	11.8%
親会社所有者帰属 持分比率	18.8%	19.9%	21.0%

IFRS				
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (見通し)
12,800億円	10,970億円	12,612億円	13,661億円	15,000億円
12,631億円	11,129億円	11,729億円	13,529億円	14,500億円
478億円	279億円	814億円	895億円	900億円
82億円	130億円	660億円	520億円	500億円
424億円	363億円	1,141億円	541億円	1,000億円
▲ 855億円	▲ 404億円	279億円	▲ 523億円	▲ 1,000億円
▲ 430億円	▲ 41億円	1,420億円	17億円	0億円
50円/株 (中間30円、 期末20円)	0円/株	70円/株 (中間30円、 期末40円)	90円/株 (中間40円、 期末50円)	100円/株 (中間50円、 期末50円)
4.1%	2.2%	6.4%	6.9%	6.4%
3.8%	2.5%	6.9%	6.6%	6.2%
92日	124日	112日	120日	124日
2.00倍	1.85倍	1.24倍	1.12倍	1.13倍
2.8%	4.5%	19.3%	12.7%	11.0%
15.0%	16.4%	20.3%	22.5%	23.2%

ROIC: (営業利益+受取利息・配当金)税引後 / (親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

CCC: 運転資本 / 売上収益 × 365日

D/Eレシオ: 有利子負債 / 資本合計

ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 親会社の所有者に帰属する持分

親会社所有者帰属持分比率: 親会社の所有者に帰属する持分 / 負債・資本合計

売上収益・機種別累計販売台数推移

	日本基準						IFRS				主要搭載機
	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	
売上収益(億円)	2,260	2,670	2,991	2,915	2,810	3,185	2,224	1,017	1,233	2,014	
累計販売台数(台)											
V2500	5,969	6,469	6,896	7,236	7,508	7,688	7,735	7,740	7,756	7,776	エアバス A319/320/321
GE90	1,806	2,039	2,257	2,457	2,617	2,715	2,824	2,885	2,925	2,968	ボーイング B777
CF34	3,820	4,156	4,471	4,821	5,085	5,331	5,611	5,798	5,926	6,085	リージョナルジェット (70~110席級)
GEEx	468	751	1,035	1,295	1,542	1,826	2,159	2,328	2,425	2,494	ボーイング B787/B747-8
PW1100G			16	148	398	1,058	1,784	2,144	2,585	3,146	エアバス A320neo
Passport20					13	66	142	202	269	335	ボンバルディア Global7500
合計	12,063	13,415	14,675	15,957	17,163	18,684	20,255	21,097	21,886	22,804	

販売台数は、機体メーカーに引き渡した台数であり、工場出荷台数とは異なる。

地域別売上収益・販売台数推移

(億円)

	日本基準						IFRS				
	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23 見通し
日本	353	375	346	389	398	446	391	354	380	418	450
アジア	298	275	216	158	117	110	107	85	118	149	140
中国	234	243	249	485	719	631	572	665	554	702	650
北米	16	18	24	33	84	116	108	90	131	264	310
中南米	0	7	34	61	74	75	66	69	115	138	120
欧州	602	756	743	617	811	513	289	199	195	223	280
その他	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0
合計	1,507	1,677	1,616	1,746	2,205	1,895	1,536	1,466	1,494	1,895	1,950
販売台数(万台)	554	589	536	610	790	676	600	551	492	559	580

(1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(億円)

	日本基準						IFRS				
	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23 見通し
賃貸収入	91	93	101	93	92	93	94	123	121	122	120

(2) 豊洲地区 賃貸収入, 賃貸費用実績(当期)

(億円)

	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'22年度	122	54	48	19

(3) 豊洲地区投資不動産の期末公正価値等

(億円)

	連結財政状態計算書計上額			期末公正価値	期末公正価値 －期末残高
	期首残高	期中増減額	期末残高		
'22年度	996	15	1,011	2,306	1,294

豊洲1~3丁目地区 開発マップ

豊洲4-2街区開発計画
敷地面積: 19,493㎡
2022年7月着工～2025年6月竣工予定



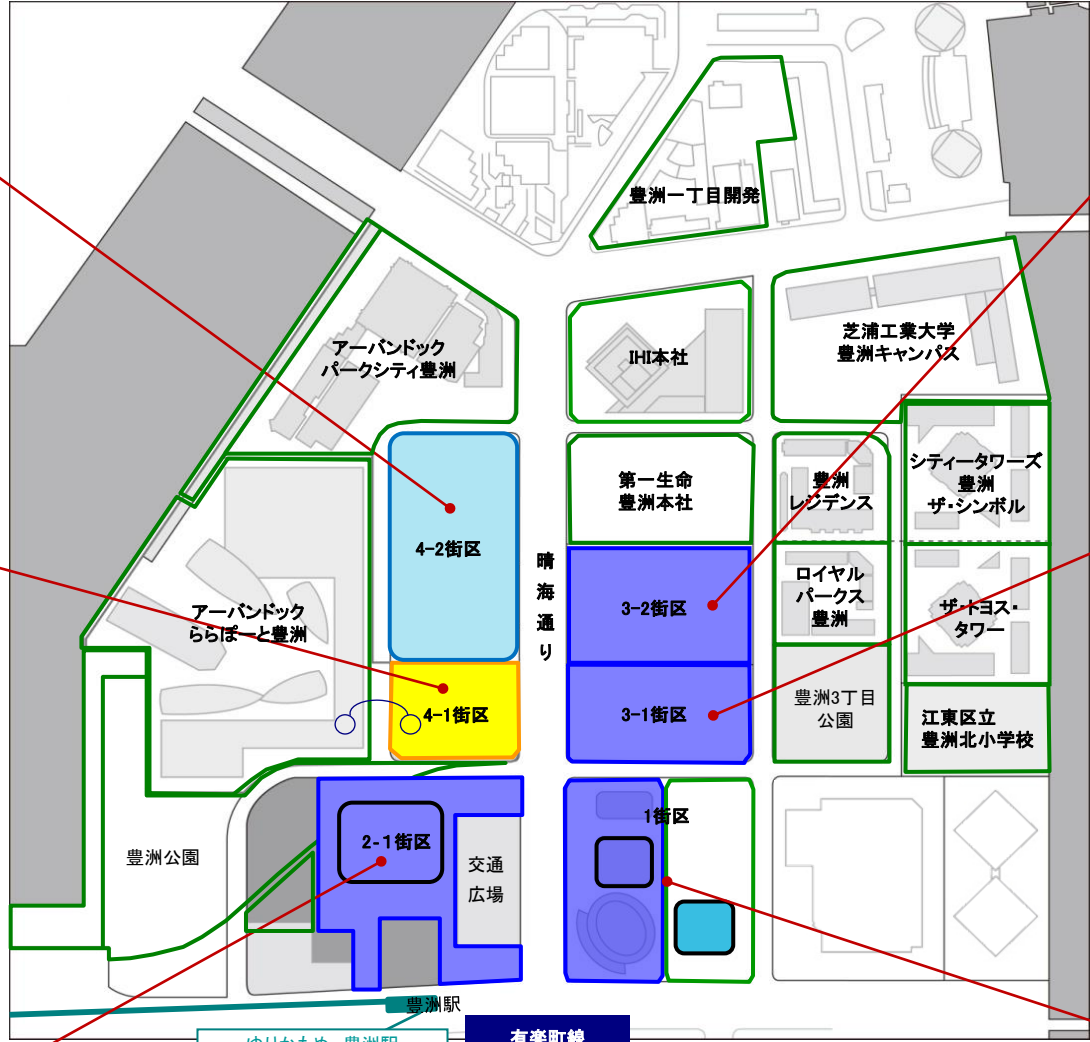
アーバンドック ららぽーと豊洲ANEX
地上5F, 高さ約25m, 延床面積: 24,721㎡
2006年10月開業



豊洲ベイサイドクロスタワー(AC棟)
地上36F, 高さ178m, 延床面積約185,000㎡
2020年3月竣工



A棟
C棟



豊洲フォレシア
地上16F, 高さ: 約75m, 延床面積: 101,503㎡
2014年7月竣工



豊洲フロント
地上15F, 高さ: 約75m, 延床面積: 106,861㎡
2010年8月竣工



豊洲センタービルアネックス
地上33F, 高さ: 約150m, 延床面積: 105,448㎡
2006年8月竣工

豊洲センタービル
地上37F, 高さ: 約165m, 延床面積: 100,069㎡
1992年10月竣工



豊洲センタービル
同アネックス

■ 建物賃貸	■ 売却・寄付・交換済
■ 土地賃貸	
■ 建物賃貸(借地)	
■ 開発中	

IHI所有地	約5ha
--------	------

IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。